

2024年度 事業報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

1 事業の成果

2024年7月1日川崎市は市制100周年を迎えた。100年の歴史が様々な形で語られる中で、川崎臨海部は「京浜臨海部の一翼を担う工業都市としての発展を経て、現在では、多くの先端産業が集積」(川崎市市制100周年記念事業の基本的な考え方)と、改めて再認識された年でもあった。

当センターも、2024年には設立20周年を迎え、5月22日には理事会・通常総会に引き続き、設立20周年記念講演会を開催した。福田川崎市長から祝辞をいただいた後、第1部は、川崎臨海部活性化推進協議会会長である大西東京大学名誉教授から「川崎臨海部のこれまでとこれから」と題したご講演いただき、第2部は、足立理事長をコーディネーターに、「リエゾンセンターのこれまでとこれから」をテーマに、歴代の専務理事等に、それぞれの思い出や想いを語っていただき、参加した方々が当センターの今後に思いをはせる会となった。その後の立食懇談会には多くの方にご参加いただき、盛会に終わることができた。冊子「LISEの20周年のあゆみ」も作成した。総会に先立ち開催した理事会において、JFEホールディングス㈱の加入が承認され、団体会員は20社となった。

リエゾン研究会については、市との情報交換会との同時開催、㈱クレハ環境ウエステックかながわ視察、東亜建設工業㈱技術研究開発センター視察、東京電力ホールディングス㈱安全啓発施設視察を行い、座学としては、川崎未来エネルギー㈱ 井田社長様から講演をいただいた。

第15回目となった「コンビナート都市連携シンポジウム」については、聴講とオンラインのライブ中継を組み合わせたハイブリッド方式により開催した。基調講演は稲葉山口大学院教授による「コンビナートの成功する未来—歴史、カーボンニュートラル、国際競争力の構築、DX—」と題する講演、特別講演は「進み始めたカーボンニュートラル、その具体的な取組み」をテーマに、それぞれの地域の方々から事例発表をしていただいた。シンポジウム終了後には交流会も実施し多くの方に参加していただいた。

川崎市との政策懇談会については、11月に第1回を、2025年2月に第2回を開催し、川崎市の臨海部関連施策について5局長・1本部長から政策課題取組状況について発表をいただいた後、各理事からそれぞれ質問をいただき、また交流会も多くの方にご参加いただくなど活発な懇談会となった。なお今回から、市からいただいた資料は事前にデータとして送付していただくなどペーパーレス化にも努めた。

「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」については、対面方式とオンライン方式の開催を組み合わせ開催、川崎市の道路関係部局から臨海部に関する道路の整備や計画等について発表していただいた。会議では会員企業から積極的な発言があり、予定終了時間を超過するなど活発な意見交換が行われ、臨海部の環境改善に向けた取り組みを進めた。

「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」については、2025年3月に橋処理センターを視察及び環境局からの情報提供を受け意見交換を行った。

川崎市が掲げている臨海部ビジョンの一つに位置付けられている「世界に誇れる人材育成プロジェクト」のうち、技能人材の育成に関する取組については、自主事業(川崎市共催)として、中村東京大学工学部非常勤講師を講師に「製造現場の安全管理講座」を、岩間元石油化学工業協会

技術部長を講師に「火災爆発体験講習」及び「事故事例から学ぶプロセスセーフティ」を開催、また、川崎市からの受託事業として、JFEプラントエンジニアリング株式会社「安全工事体感訓練センター」において「安全体感研修」を開催、川崎市会議室において「新技術導入講座」を開催し、川崎臨海部の人材育成並びに安全環境の向上につなげた。

また、企業交流事業としては、川崎市からの受託事業として、「新川崎・創造のもり現地見学&意見交換会」及び「カワリンクルーズ」を開催し、臨海部に働く方たちの企業の枠を超えた交流を進めた。

川崎国際環境技術展については、実行委員会に委員として出席するとともに、当日はブース出展し、企業関係者並びに市民に対して当NPOの活動内容を紹介した。

また、「川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）」「川崎CNブランド等推進協議会」に引き続き参画するとともに、今年度から「川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム」及び「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」へも新たに参画し川崎市が推進する脱炭素に関する企業支援の取り組み参加、その他川崎市の川崎臨海部関連事業に積極的に参加した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

(定款第5条① 産業活性化及び環境保全に関わる調査・研究事業)

◎自主事業ア リエゾン研究会・政策懇談会事業

- ・費用額 104,696円

◎ア-1 リエゾン研究会事業

- ・内容

「リエゾン研究会」は、会員企業や関連事業者等による新事業展開や新たな土地利用などの先進事例についての視察会、情報交換等を通じて、会員相互の情報共有を図るとともに、川崎市の「臨海部ビジョン・リーディングプロジェクト」に関連した施策をはじめた臨海部関連施策や、IoT、カーボンニュートラル、資源循環などの施策等に関する情報共有や意見交換、共同の取組みなどを行うことを目的に取組みを進めてきたが、2024年度は以下の研究会を開催した。

【第1回リエゾン研究会】

◇情報交換・意見交換内容

川崎市の関連部局と情報交換を行なうとともに、2024年度の視察について会員から要望を聞いた上で、視察先の検討を行なった。また懇親会も開催した。

- ・日時 4月10日(水) 16時～17時 情報交換会・リエゾン研究会
17時～18時 懇親会
- ・場所 川崎市産業振興会館 経済労働局会議室
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 27人

【第2回リエゾン研究会(株)クレハ環境ウエステックかながわ視察】

◇視察・情報交換内容

- ・施設を見学し、情報共有を図った。
- ・日時 6月13日(木) 14時～16時
- ・場所 (株)クレハ環境ウエステックかながわ
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 16人

【第3回リエゾン研究会(東亜建設工業(株)技術研究開発センター視察)】

◇視察・情報交換内容

- ・施設を見学し、情報共有を図った。
- ・日時 7月31日(水) 14時10分～16時
- ・場所 東亜建設工業(株)技術研究開発センター
- ・従事者人員 4人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 21人

【第4回リエゾン研究会(講演：川崎未来エネルギー(株)井田代表取締役社長)】

◇講演内容

- ・「川崎市域への再エネ拡大を目指した事業展開について」と題し井田社長から講演をいただいたのち、質疑・意見交換を行った。
- ・日時 1月30日(木) 15時～16時
- ・場所 川崎市産業振興会館 12階会議室
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 18人

【第5回リエゾン研究会(東京電力ホールディングス(株) 安全啓発施設視察)】

◇視察・情報交換内容

- ・日時 2月27日(木)
- ・施設を見学し、安全啓発に関する意見交換を図った。
- ・場所 東京電力経営技術戦略研究所内安全啓発施設
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 リエゾンセンター会員企業及び行政職員等 11人

◎ア-2 「川崎市との政策懇談会事業」

・内容

臨海部関連の川崎市の政策課題取組状況・予算措置状況等並びに会員企業の新たな課題への取組み状況について、役員・会員と川崎市関係局幹部との情報共有並びに意見交換を行なった

<第1回政策懇談会>

- ・日時 2024年11月19日(木)15時～17時
- ・場所 川崎市産業振興会館1階ホール
- ・従事者人員 10人(会員企業幹事5名を含む(無給))

- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員 32 名と川崎市関係局幹部 22 名
- ◇川崎市 5 局・1 本部からの情報提供
 - [臨海部国際戦略本部] 「臨海部ビジョン」
 - [経済労働局] 「経済労働局の取組みについて」
 - [環境局] 「環境局の取組」
 - [まちづくり局] 「川崎駅周辺の取組状況」
 - [建設緑政局] 「全国都市緑化かわさきフェアの取組状況について」[国道 357 号について]
 - [港湾局] 「港湾局の取組」
- ◇会員企業からの情報提供
 - [東京電力パワーグリッド株式会社] 「地域脱炭素推進に向けた取組と課題」
 - [JFE ホールディングス株式会社] 「JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区における高炉等休止に伴う大規模土地利用転換」

< 第 2 回政策懇談会 >

- ・日時 2025 年 2 月 14 日(金)15 時～17 時
- ・場所 川崎市産業振興会館 4 階企画展示室
- ・従事者人員 9 人(会員企業幹事 6 名を含む(無給))
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員 40 名と川崎市関係局幹部 23 名
- ◇川崎市 5 局・1 本部からの情報提供
 - [臨海部国際戦略本部] 「臨海部ビジョン」
 - [経済労働局] 「経済労働局の取組」
 - [環境局] 「令和 7 年度環境局予算の概要について 環境局の取組・予算について」
 - [まちづくり局] 「交通政策に関する取組」
 - [建設緑政局] 「建設緑政局の取組」
 - [港湾局] 「令和 7 年度港湾局予算案概要」
- ◇会員企業からの情報提供
 - [旭化成株式会社] 「水素製造アルカリ水電解システムアクアライザー」
- ◇リエゾンセンターからの情報提供
 - [川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会の開催結果について]

◎ア-3 「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会 (通算第 26 回)」

- ・内容 臨海部地域における道路工事等の進捗状況と今後の工事予定についての意見交換
 ※この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局の呼びかけにより 2009 年 11 月に発足した。
- ・日時 2025 年 1 月 21 日(火) 15 時～16 時 30 分
- ・場所 川崎市第 3 庁舎 15 階会議室、オンライン併用
- ・従事者人員 2 人
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員 16 名と川崎市関係局幹部 21 名

◎ア-4 「循環型地域社会の形成に向けた環境産業との連携に関する連絡会議」

- ・内容 環境局関連視察及び環境局からの情報提供・意見交換
※この連絡会議は、環境産業と行政との連携の推進により地球環境にやさしい持続可能なまちの実現を目的に環境局生活環境部の呼びかけにより 2009 年に発足した。
- ・日時 2025 年 3 月 18 日(火) 14 時～16 時 30 分
- ・場所 橘処理センター
- ・従事者人員 3 人
- ・対象者 リエゾンセンター役員・会員 8 名と川崎市関係局 3 名

(定款第 5 条② 産業活性化及び環境保全に関わる普及・広報事業)

◎自主事業イ 普及・広報事業

- ・費用額 885,713 円

◎イ-1 「コンビナート都市連携シンポジウム(第 15 回)の開催事業」

・内容

本シンポジウムはこれまで 14 回にわたり、全国各地のコンビナート地域等の先進的な取組事例等を取り上げ、地域間連携や事業所間連携、産学官連携の取組について情報共有並びに議論を深めた。今回は、各地コンビナートでの脱炭素化の動きをはじめ、臨海部コンビナートのリノベーションに向けた多様な取組の情報発信を図った。

■基調講演

「コンビナートの成功する未来—歴史、カーボンニュートラル、国際競争力の構築、DX—」

山口大学大学院技術経営研究科 (MOT) 研究科長 稲葉和也教授

■特別講演(事例発表)

◇「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想について」

川崎市臨海部国際戦略本部成長戦略推進部カーボンリユートラル推進担当課長野和田翔太氏

◇「大分コンビナートの“いま”」

大分県商工観光労働部工業振興課長金子成人氏

◇「OHGISHIMA2050」

JFE ホールディングス(株)京浜土地活用検討班長 (理事) 松本剛氏

◇「三井化学でのデータ利活用によるスマート保安」

三井化学(株)生産・技術本部生産技術高度化推進室長八坂直登氏

[主催] 当センター [共催] 川崎市

[後援] 関東経済産業局、神奈川県、茨城県、千葉県、大分県、RING(石油コンビナート高度統合運営技術研究組合、四日市市、周南市、川崎商工会議所、(公財)川崎市産業振興財団、(株)化学工業日報社

- ・日時 2024 年 10 月 23 日(水)
- ・場所 産業振興会館 1 階ホール及び Web 方式で中継映像を全国各地の参加者に配信
- ・従事者人員 11 人(当センター 5 人委託先要員 4 人、会員企業幹事 2 人を含む)
- ・対象者 リエゾンセンター会員、後援団体、市内の関係者・市民、全国各地で関心のあるコン

ビナート関係企業・行政機関、発表者等に聴講を働きかけ、会場参加 51 名 Web150 名

◎イ-2 「展示会等への出展事業」

・内容

a 第 17 回川崎国際環境技術展への出展

「次世代環境技術で、未来を拓く」をテーマに、カルッツかわさきで展示会場を設けての開催となった。当センターも出展したブースでは、センター事業の概要、川崎臨海部発展の歴史や今後の方向について展示を行い情報発信を行なった。

b 川崎市企業市民交流事業推進委員会主催の「知ろう!学ぼう!かわさき市民企業交流 Day」

当 NPO 法人の活動状況の紹介パネルを展示した。また、会員企業の ENEOS(株)、JFE スチール(株)、(株)レゾナック、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)もパネル展示により活動を紹介した。

・日時

a 第 16 回川崎国際環境技術展 2024 年 11 月 13 日(水)～11 月 14 日(木)

b 「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」2024 年 11 月 23 日(土)

・場所

a 第 16 回川崎国際環境技術展 カルッツかわさき(川崎市富士見 1-1-4)

b 「知ろう!学ぼう!かわさき市民企業交流 Day」川崎ルフロン(川崎市日進町 1-11)

・従事者人員

a 第 16 回川崎国際環境技術展 5 人

b 「知ろう!学ぼう!かわさき市民企業交流 Day」2 人

・対象者

a 第 16 回川崎国際環境技術展 来場者 13 日約 2,750 人 14 日約 2,300 人

b 「知ろう!学ぼう!かわさき市民企業交流 Day」川崎区民及び交流 Day に関心のある人

◎イ-3 「川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会事業」

・内容

本情報交換会は、臨海部に関連する会員情報並びに行政からの施策情報等を相互に交換し情報共有を図るとともに必要な情報を会員に提供した。

・日時

2023 年 4 月 14 日(金)に第 1 回情報交換会を開催し、5 月以降は毎月メール配信による情報共有を行なった。

・場所 共有した情報についてはメール配信により全会員企業に提供した

・従事者人員 2 人

・対象者 (メールによる情報共有先)

法人会員企業 (20 社)

川崎市; 臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室

◎イ-4 「会報の発行事業」

・内容

会員向けの当 NPO 法人に係る広報として、NPO 法人の活動状況、会員企業の臨海部関連情報などを提供した。

<第 49 号> (2024 年 9 月 20 日発行)

「第 79 回理事会」・「第 20 回通常総会・記念講演会」、「リエゾン研究会(視察会)クレハ環境ウエステックかながわ」、「リエゾン研究会(視察会)東亜建設工業(株)技術研究開発センター」

<第 50 号> (2024 年 12 月 20 日発行)

「第 81 回理事会」・「川崎市との政策懇談会」、「コンビナート都市連携シンポジウムの開催」、「第 17 回川崎国際環境技術展へのブース出展」、「知ろう!学ぼう!かわさき企業市民交流 Day へのブース出展」

<第 51 号> (2025 年 3 月 28 日発行)

「第 82 回理事会」・「川崎市との政策懇談会」、「川崎臨海部企業交流会 カワリンクルーズの開催」、「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」、「第 4 回リエゾン研究会(座学)川崎未来エナジー(株)井田社長講話」「川崎臨海部企業の人材育成講座・新技術導入講座」「第 5 回リエゾン研究会(視察)東京電力ホールディングス(株)安全啓発施設」「臨海部企業の人材育成講座 中堅オペレーター・設備保安担当者向け事故事例から学ぶプロセスセーフティー」

・従事者人員 2 人

・対象者 法人会員(20 社)・個人会員(15 人)

川崎市; 臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部、経済労働局イノベーション推進部、環境局脱炭素戦略推進室

◎イ-5 「ホームページを通じた情報発信等事業」

・内容

ホームページを通じて、「会員企業の最新の動向」として、会員企業の事業活動に係る最新情報を発信した。

・日時 「会員企業の最新の動向」は前月の会員企業各社のプレスリリース情報を取りまとめ翌月にアップロードした。

・場所 当法人のホームページに掲載

・従事者人員 2 人

・対象者 臨海部に興味のある市民・企業

(定款第 5 条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

◎自主事業ウ 安全管理講座

臨海部ビジョンのリーディングプロジェクト「世界に誇れる人材育成プロジェクト」に基づき以下の事業について自主事業(川崎市共催)として、臨海部地域の企業の枠を超えた技能人材や研究開発人材の確保・育成につなげるため、企業の枠を超えた「共通講座」として会員企業及び臨海部立地事業所の社員を対象とした講座を開催した。

・費用額 687,477 円

◎ウー1 「製造現場の安全管理講座」

・内容 製造現場の責任者等を対象に、製造現場の安全管理について、様々な角度から、豊富な事例を交えて講義を行った。

- ・日時 2024年9月4日(水)「製造現場の変化と技術・技能伝承」
11日(水)「リスクアセスメントは機能しているか」
18日(水)「これからの安全管理」
25日(水)「化学プラントと安全文化」
- ・場所 川崎市産業振興会館会議室
- ・講師 (一社)京葉人材育成会 代表理事・会長 中村昌允氏
- ・対象者 臨海部事業所で製造現場の責任者等や、経営者・管理者等
- ・従事人員 2名
- ・受講者 4日(水)7名、11日(水):14名、18日(水):11名、25日(水):9名

◎ウー2 「火災爆発講座」

- ・内容 石油・石化工場の危険物取扱等に関する講習
- ・日時 2024年4月19日(金)「火災爆発体験講習」
12月4日(水)「事故事例から学ぶプロセスセーフティ」
- ・場所 4月19日(金)川崎市役所第4庁舎会議室、消防庁消防研究センター(見学)
12月4日(水)川崎市産業振興会館12階会議室
- ・講師 元石油化学工業協会技術部長 岩間啓一氏
- ・対象者 石油・石化工場の危険物・可燃物等を扱う若年の現場運転員等
- ・従事人員 2名
- ・受講者 4月19日(金):12名 12月6日(水):16名

(定款第5条③ その他この法人の目的を達するために必要な事業)

◎受託事業ア 「川崎臨海部産学公民連携推進事業」

(川崎市臨海部国際戦略本部からの委託事業)

- ・費用額 1,853,128円(うち受託料 1,807,300円)

◎内容ア-1 「川崎臨海部活性化推進協議会」企画・立案運営等業務

前年度までは、当センターが協議会の事務局業務を担当していたが、今年度は、協議会の事務局としての業務は市が直接行うこととなり、協議会の企画・立案の支援及び当日の受付補助等の業務を行った。

対象者は、各回とも以下のとおり

川崎臨海部立地企業及び準ずる企業・団体等、川崎臨海部地域に関わる経済・産業団体、川崎臨海部産業立地等に関わる大学研究者及び学識経験者等、川崎臨海部地域に関わる地域代表者、行政機関、

<2024年度第1回川崎臨海部活性化推進協議会>

- ・日時 2024年10月16日(水)14時30分~17時
- ・場所 川崎市生命科学・環境研究センター1階大会議室(川崎区殿町)

- ・議題 (1) 臨海部の交通課題について
(2) 南海トラフ地震時情報について
- ・従事者人員 1人

<2024年度第2回川崎臨海部活性化推進協議会>

- ・日時 2025年3月13日(水)10時~11時55分
- ・場所 ステーションコンファレンス川崎 ROOM A+B
- ・議題 (1) 川崎臨海部における交通課題への取組
(2) 産業競争力の強化に向けた取組
- ・従事者人員 2人

◎内容ア-2 「働きやすく暮らしやすい環境づくりプロジェクト」に基づく、企業間交流イベント等の開催

川崎臨海部の企業等で働く社員等に対し、川崎臨海部という同じエリアで働く仲間として、気軽に参加し、業務へのフィードバックにもつながるような交流事業を実施。

<新川崎・創造のもり 現地見学&意見交換会>

- ・内容 新川崎・創造のもりの概要説明、施設見学(含む量子センター)、意見交換
- ・日時 2024年6月26日(水)14時~16時
- ・場所 新川崎・創造のもり
- ・従事者人員 3名
- ・参加者 24名

<カワリンクルーズ>

- ・内容
普段勤務する川崎臨海部を海から眺めながら、川崎港や川崎臨海部の役割や重要性を理解いただくとともに、働く方たちが事業所の枠を超えた交流する機会とする。
- ・日時 2024年12月19日(木)14時~16時30分
- ・場所 市巡視船で川崎臨海部を周遊
- ・従事者人員 3名
- ・参加者 32名

◎内容ア-3 臨海部ビジョン「世界に誇れる人材育成プロジェクト」に基づく、技能人材育成講座・研修

<安全体感研修>

- ・内容
JFEプラントエンジニアリング(株)「安全工事体感訓練センター」で、初学者向けの安全体感研修を実施。
- ・日時 2024年8月29日(木)
- ・場所 JFEプラントエンジニアリング(株)「安全工事体感訓練センター」
- ・従事者人員 2名
- ・参加者 12名

<新技術導入講座>

- ・内容

「高圧ガス保安法に係る最新動向と DX を活用したスマート保安の先進事例について」をテーマに、経済産業省高圧ガス保安室コンビナート担当補佐、川崎市消防局高圧ガス・火薬類担当係長、ENEOS 川崎製油所工務計画設備技術グループの担当者から先進事例の紹介をいただいた。

- ・日時 2024 年 1 月 31 日 (金)
- ・場所 川崎市役所本庁舎復元棟 301 会議室
- ・従事者人員 2 名
- ・参加者 会場：18 名 WEB52 名

◎内容ア-4 臨海部ビジョン「エリアブランディングプロジェクト」に基づく、臨海部の情報発信、知名度向上に向けた環境・産業交流コーナーの管理及び情報発信・収集等

<環境・産業交流コーナーの管理>

川崎市産業振興会館 12 階の「環境・産業交流コーナー」を管理し、以下の情報を収集し閲覧できるように整備した。

- ① 川崎臨海部立地企業のカーボンニュートラルに向けた取組状況、CSR・環境レポート、川崎事業所概要
- ② 石油業界、石油化学業界、鉄鋼業界など臨海部立地業種に係る動向、全国各地コンビナートの動向、川崎市の臨海部関連・地球温暖化対策関連施策

- ・開館日時 月曜日～金曜日 10 時～16 時
 - ・場所 川崎市産業振興会館 12 階
 - ・従事者人員 2 名
 - ・対象者 コーナーに関心のある市民・企業等
- <ホームページによる情報発信・収集>

- ・内容

毎月、会員企業 20 社の技術革新、国内外展開、社会貢献活動等についてのニュースリリース記事を収集し、収集情報を当 NPO のホームページにアップし会員企業並びに川崎市の臨海部関連部に配信するとともに一般に公開した。

- ・場所 Web で発信
- ・従事者人員 2 名
- ・対象者 臨海部に関心のある市民・企業等

◎その他事業

各種協議会、委員会等への参加

- ・費用額 0 円
- ・内容

次の各種協議会、委員会等に参加し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

◇「川崎温暖化対策推進会議 (CC 川崎エコ会議)」(事務局 川崎市環境局脱炭素戦略推進室)
[会長] 足立芳寛理事長

[理事] (33名の理事の内、味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)の5社が参加している)

[運営委員会] 委員長：中村専務理事

[委員] (10名の委員の内、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)が委員として参加)

[主な実施事業]

第13回スマートライフスタイル大賞表彰式が2025年2月7日(金)川崎市役所会議室で開催された。

◇「川崎 CN ブランド等推進協議会」

[構成団体] 川崎市・川崎市産業振興財団・川崎商工会議所・当 NPO 法人

[委員長] 足立芳寛理事長 (併せて審査部会委員長)

[委員] 中村専務理事 (併せて運営・推進部会委員)

[主な活動内容]

市内企業の、製品・技術等のライフサイクル全体で CO2 排出量を見える化し、従来製品等からの削減効果を評価・発信する「川崎 CN ブランド」について、川崎市と産業支援団体等が連携して認定・認証を行うとともに、認定・認証製品等のより一層の普及促進を図る活動を展開した。当センターの会員企業では、今年度は JFE スチール(株)東日本製鉄所(京浜地区)が川崎 CN ブランド 2024 の認定を受けた。

製品名：「建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管 JBCR385」

(2009年度からの認定企業数は会員企業累計20社・36件、全市合計137件の約26%)

◇「川崎国際環境技術展実行委員会」(事務局 川崎市経済労働局イノベーション推進室)

[委員・会計監事] 足立芳寛理事長 (会議には中村専務理事が代理出席)

◇「川崎区企業市民交流事業推進委員会」(事務局川崎区まちづくり推進部地域振興課)

[委員] ~10月31日長瀬事務局長、11月1日~神前事務局長

[会員企業] 当 NPO の次の会員企業6社が参加した。

味の素(株)、ENEOS(株)、JFE スチール(株)、(株)レゾナック、東京ガス(株)、
東京電力パワーグリッド(株)

◇「当法人及び会員企業が参加するその他の主な会議」

a 川崎臨海部防災協議会

[目的] 東日本大震災の経験を踏まえて、川崎臨海部における災害の未然防止や発生した災害の拡大防止を図るとともに、市民及び従業員等の安全確保及び二次災害の防止、企業の事業継続性の確保などの課題について協議・検討する。

[設置] 2012年1月

[構成員] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市

会員企業から旭化成(株)、ENEOS(株)、JFEアーバンリサイクル(株)、JFEスチール(株)、クレハ環境(株)、(株)レゾナック、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当 NPO 法人

[事務局] 川崎市総務企画局危機管理室、臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部

[活動概要]

地域防災力の充実・強化、防災対策の進捗状況、新型コロナウイルスに対する川崎市の対応、

今後の取組等が情報共有された。

<第1回> 2023年6月11(火) 川崎市役所防災対策室

<第2回> 2024年12月6日(金) 川崎市役所防災対策室

b 川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会

[目的] 川崎臨海部をカーボンニュートラル化しながら産業競争力を強化するため、カーボンニュートラルコンビナート構築に向けた意識を共有し、協力して取組を推進するため協議会を設置。

[設置] 2020年5月。当NPO法人は、2023年11月入会

[構成員] 臨海部立地企業、臨海部関連産業団体及び川崎市
会員企業から旭化成(株)、味の素(株)、ENEOS(株)、クレハ環境(株)、J&T環境(株)、JFEエンジニアリング(株)、JFEスチール(株)、東亜建設工業(株)、東京ガスグループ、東京電力グループ、(株)レゾナック、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当NPO法人

[事務局] 川崎市臨海部成長戦略推進部

[活動概要] 協議会を開催しカーボンニュートラルコンビナート形成に向けた協議を行う

c 川崎市脱炭素経営支援コンソーシアム

[目的] 中小企業への地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制を創設し、参画する金融機関や中小企業の経営支援を行う団体などの特性を掛け合わせた総合的な支援を実施。

[設置] 2023年9月

[構成員] 市内中小企業、市内企業関係団体、地元金融機関、市内中小企業支援団体、市内大学等及び川崎市。当NPO法人は市内企業関係団体として参画。

[事務局] 川崎市環境局脱炭素戦略推進室

[活動概要] コンソーシアム参画団体による企業支援、人材育成セミナー・交流会等

3 運営体制等

(1) 役員は11名(理事10名 監事1名)体制のもとに、理事長を中心に事業計画・予算等の主要な方針を決定するとともに、川崎市との政策懇談等の当NPO法人の重要な具体事業において主要な役割を担った。

事務局長については、前任の長瀬が2024年10月末で退職し、神前が10月1日に事務局次長として入職、11月1日から事務局長に就任している。

(2) 会員数 (2025年3月末現在)

団体会員 20社 (2024年5月22日～JFEホールディングス新規加入)

個人会員 13名及び賛助会員 2社

(3) 幹事会は、引き続き次の7社で運営し、4月、9月、1月に開催。当NPO法人の事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。

・幹事長 (株)浜銀総合研究所

・副幹事長 東京電力パワーグリッド(株)

・幹事 JFEスチール(株)、(株)デイ・シイ、東亜石油(株)、東京ガス(株)、ENEOS(株)

2024 年度事業報告

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

1 2025 年 3 月 31 日現在の会員数

団体会員 20 社

賛助会員 2 社

個人会員 13 名

2 2024 度の主な事業活動報告

<4 月>

10 日（水）リエゾン幹事会・リエゾン研究会・市との情報交換会

19 日（金）当センター主催・川崎市共催 火災爆発体験講習会（午前座学・午後消防庁
消防研究センター施設見学）

<5 月>

15 日（水）会計監査 小澤監事

21 日（火）川崎 CN ブランド協議会（理事長・専務理事出席）

22 日（水）第 79 回理事会・第 20 回通常総会・リエゾンセンター創立 20 周年事業（記念講
演会・鼎談）

29 日（水）川崎区企業市民交流事業推進委員会（事務局長出席）

<6 月>

13 日（木） CC 川崎エコ運営委員会（専務理事出席）

第 2 回リエゾン研究会（㈱クレハ環境ウエステックかながわ視察）

18 日（火） 第 80 回 理事会（書面協議）

26 日（水） 新川崎創造のもり見学・意見交換会（川崎市受託事業）

<7 月>

1 日（月） 市制 100 周年記念式典（ミューザ川崎）（専務理事代理出席）

11 日（金） CC 川崎エコ会議（理事長・専務理事出席）

31 日（水） 第 3 回リエゾン研究会 東亜建設工業技術研究開発センター視察

<8 月>

28 日（水）川崎市制 100 周年記念事業等実行委員会第 5 回総会（専務理事出席）

29 日（木）技能人材育成事業（JFE プラントエンジ・市受託事業）

<9 月>

4 日（水）・11 日（水）・18 日（水）・25 日（水）

当センター主催・川崎市共催製造現場の安全管理講座（中村講師）（産振会館 12 階会議室）

26 日（木） 第 2 回幹事会

川崎 CN ブランド部会（専務理事出席）

<10 月>

- 10 日（木）川崎 CN ブランド協議会（理事長・専務理事出席）
- 16 日（水）川崎国際環境技術展実行委員会（専務理事代理出席）
第 1 回川崎臨海部活性化推進協議会
- 23 日（水）第 15 回都市連携コンビナートシンポジウム

<11 月>

- 13 日（水）・14 日（木）川崎国際環境技術展 出展
- 19 日（火）第 81 回理事会・第 1 回政策懇談会
- 20 日（水）川崎臨海部人材育成企画会議（専務理事・事務局長出席）
- 23 日（土）かわさき企業市民交流 DAY
- 26 日（火）川崎カーボンニュートラルトラトラルコンビナート形成推進協議会（専務理事出席）

<12 月>

- 4 日（水）当センター主催・川崎市共催火災爆発講習（岩間講師）
- 6 日（金）川崎臨海部防災協議会（事務局長出席）
- 19 日（木）カワリンクルーズ（川崎市受託事業）

2025 年

<1 月>

- 21 日（火）川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会
- 23 日（木）川崎臨海部フォーラム（専務理事・事務局長出席）
- 29 日（水）川崎国際環境技術展実行委員会（専務理事代理出席）
- 30 日（木）第 3 回幹事会
第 4 回リエゾン研究会（座学）講師：川崎未来エナジー(株)井田社長
- 31 日（金）新技術導入講座（川崎市受託事業）

<2 月>

- 7 日（金）CC 川崎エコ会議・シンポジウム（理事長・専務理事出席）
- 14 日（金）第 82 理事会・第 2 回政策懇談会
- 27 日（木）第 5 回リエゾン研究会 東京電力ホールディングス(株) 安全啓発施設視察

<3 月>

- 13 日（木）第 2 回川崎臨海部活性化推進協議会
- 18 日（火）環境産業との連絡連携会議 橘処理センター視察
- 24 日（月）緑化かわさきフェア実行委員会（専務理事代理出席）
- 25 日（火）川崎カーボンニュートラルトラトラルコンビナート形成推進協議会（専務理事出席）